

すぎなみ大人塾(中曽根聡)

矢板市ふるさと創年大学(増淵直嗣)

あわ夢まつり実行委員会(松苗禮子)

葛生むらおこし実行委員会(広瀬正道)

学習目標:市民が自己発揮できるまちをつくる

大学教育研究においては、「講義方式の濫用は、その講義者にとっても受け手にとっても中毒性の麻薬と分類されるべきもの」とされている。(ヘイル委員会報告書)

地元にある文化の掘り起こしと継承
すぐれた文化を子どもたちに伝える
村おこしは、漬物ではなく人づくり

地域貢献

行政からの補助金削減という危機
商店等からの広告掲載料
ワッパンの販売と特典付与による地域振興への貢献
くずまちづくり株式会社

資金の獲得と地域貢献

杉並を知る
小さな町でリピーターが多い

自分を深める

自主性に任せたほうがよいのではという行政側の迷い
生涯学習課からの呼びかけで始まった
でも、反対した人がついてきてくれた
ソフト面の民間、ハード面の行政
行政から教えてもらうことも多い

行政側の指導性とは何か

20140301 佐野市フォーラム
第2分科会
学習中毒からの脱却
一わが手でまちづくり

教育を変える

教育ビジョン 和のエネルギーへの転換
子どもたちに遊びを伝承する
ヒップホップダンスの若者の活躍
シャッター通りのまちを子どもたちが住める場に
商工会から若者へのスタッフ集め

個人からの出発

大人の放課後:自分を振り返り、社会とのつながりを見つける
学習者の関心に対応する
学習支援補助者
自分発の関心でたまり場づくり
市民力の向上

仲間と関わる

大人塾 成果発表会で縦につながる
高齢者宅の夏みかんをマーマレードに
仲間づくり/学習や事業、実践活動とおし、つながりを強める
さまざまなジャンルの交流と発信
みなで考え、前向きに検討
たえず新しい仲間を増やす
むらおこしとは何か、つねに激論

地域での自己発揮

講座の中でアクションを起こし、外からの反応に対応する
楽しみの延長線上に描く公共
商店街祭りを住民との交流の場に転換
失敗を含めたコミュニティの社会実験=仲間との信頼関係と外への発信
参加者が学んだことを実践してもらう
講義形式から学習者主体の学びに転換
二千人も集まった 自分たちでできることをやろう

指定管理者制度の普及のなか、NPOなどへの丸投げが問題になっている。
市民としては、そこにどのような能力をもった職員を配置していただくことが大切なのか、傍観しているのではなく、全市的視点から整理して提言する必要がある。
さらには、まちづくりの視点から、広く地域団体をネットワークして、指定管理者そのものを引き受けることも考えたい。

① 個は他者と関わることによって、より深まる、②個人の「花の生涯」にとって、社会での位置決めは重要事項、③学びだけでなく、支え合いで社会がえられる。